

はたらくネット

企業で働く障害のある方や障害のある方を雇用している企業様の、「笑顔」とそれぞれの「想い」をお伝えします。

今回は、「小林製薬チャレンジド株式会社仙台事業所」様をご紹介します。前回、平成29年に発行したはたらくネット28号に続き2度目の取材となる今号では、働いている方と企業の「その後」についてお聞きします。

小林製薬チャレンジド株式会社様は障害のある方の雇用の促進ならびに障害のある方が安心して就労できる職場の提供を目的に平成23年11月に設立、平成24年2月に特例子会社として認定されました。仙台事業所は、平成26年に設立し、令和3年4月現在で15名の方が就労しています。



社屋外観

障害のある方を雇用している企業の方

小林製薬チャレンジド株式会社 仙台事業所
所長 馬場 浩次 様

(1) 障害者雇用を長く続けていらっしゃると思いますが、働くなかで大切にしていることは何ですか？

一番大切にしていることは、メンバーとのコミュニケーションです。チームの一員として自らの役割を理解し、自ら行動できるようになって欲しいと思っています。もちろんすぐできるというわけではありませんので、根気強く伝えていきます。

その中で困りごとなどが出来たら、その時はその都度その人に合う“より良い支援”を繰り返し行っています。



(2) 障害のある方を雇用したきっかけと、その後も更に雇用を拡大している理由について教えてください。

企業として障がい者雇用率を安定的に高め、障がいを持っている人に配慮した組織や運営になることで働きやすさを追求できると考え、特例子会社を設立しました。設立を機に引き続き雇用を拡大していくという目的に準じてやっております。令和3年4月1日現在、仙台事業所は15名、富山県と兵庫県の3事業所合わせて43名の方が就労されております。

(3) これまで、障害のある方と働いてきて感じたことを教えてください。

みなさん障がいをお持ちですが、可能性は無限大だと思っています。私が彼らには難しいと思っていた草刈りの仕事も、今ではやってくれています。こちらではケガをさせてはいけないと思っていましたが、自宅で草刈りの手伝いをしているメンバーがいて挑戦してくれました。

その様子を見て他のメンバーも意欲的になり、今では自分たちだけで草刈りができるようになりました。

今はさらに仕事の幅が広がり、実際に工場の生産ラインに入ることもあります。自分たちが作った製品が店頭に並ぶということで、メンバーのモチベーションが上がっているようです。



所長 馬場様(左)と、仙台事業所 参与
企業在籍型職場適応援助者(ジョブコーチ) 佐藤様(右)



草刈り作業の様子

(4) 採用当初と現在では、周りの社員の方の反応や雰囲気は変わりましたか？

皆さん、頑張っていることをきちんと評価してくれます。厳しいご指摘は当然ありますが、それはどこでも一緒だと思います。「ありがとう」とか「どうしたの?」と声を掛けていただくなど、温かい目で見ただけで嬉しそうですね。メンバーの仕事ぶりを見た周りの社員の方から「あんなこともできるんだね」と言われ、もっといろんなことができるんじゃないかと思いました。

障がい特性については、全体朝礼などで私から他の社員へ伝えていきます。メンバーの中には、障がい特性上、話かけられてもすぐに適切な返答ができない方もいます。そういったことを伝えて、理解していただけるようにしています。

(5) 設立当初から長く働いている方もいらっしゃいますが、働いている方の困りごとの解決方法をお聞かせください。

悩みを解決するために、面談をしています。メンバー間のトラブル発生時は、双方の意見を聞くようにしています。なかなか簡単にはいきませんが、解決に向けて双方が納得するように対応しています。

(6) 前回の取材時より雇用している障害のある方の人数が増えましたが、業務の切り出しはどうなっていますか？

既にある定型作業の清掃やビルメンテナンス、パレット洗浄など基本的な仕事はしっかりこなし、工場の社長以下幹部の出席する会議で業務拡大についてプレゼンテーションしました。「手間がかかるが機械化しにくい作業やシステム化が難しい業務」に活路があると思っています。

その後も引き続きあらゆる場面で情報交換しながら仕事の切り出しにつなげています。最近では、コロナ禍で新たに設置されたアクリル板の清掃（50枚くらい）もしています。

(7) 支援機関と関わるメリットを教えてください。

メンバーが安定して働けるよう助言を頂いたり、生活面やメンタル面などをフォローして頂いてとても助かっています。今後ともご支援をお願いしたいと思います。

(8) 障害のある方を雇用して良かったことは何ですか？

メンバーにはいろいろな仕事に関わっていただくことで自身の可能性が広がっていく機会になったと思います。これからもモチベーションを高められる職場であるように働きかけていきます。

～企業から一言メッセージ～

○ 就職を目指す方へ

就労意欲をありのまま伝えてください。できることは必ずあります。

○ 企業の方へ

可能性を制限しないで小さなことから一つ一つ始めていけば、必ず道は開けます。

○ 就労を支援している方へ

日頃は大変お世話になり、ありがとうございます。これからも引き続きアドバイス・ご支援をお願いします。

小林製薬チャレンジド株式会社仙台事業所様で働いている障害のある方

小出さんは、はたらポート仙台が支援を行い平成26年4月から小林製薬チャレンジド様で働いていらっしゃいます。

前回の取材の際はご実家で生活しておられ、片道1時間半かけて通勤していらっしゃいました。

(1) 前回の取材の時から、何か変化はありましたか？

グループホームで暮らすようになりました。会社で学んだことが実生活で生きています。例えば、掃除や自分の部屋の掃除機がけなどです。グループホームに入ってからはお世話人さんに洗濯機の使い方を教わって、毎日自分で洗濯をするようになりました。お休みの時は運動不足にならないように散歩をするようにしています。



小出 弘子 様

(2) 働いていて良かったことや嬉しかったことはありますか？

いろんな仕事ができることです。お客様にお届けする製品づくりの仕事も、任せてもらえるようになりました。自分が作った商品をいろんな人に見ていただいて、誰かに買っていただくとチャレンジドのみんなが頑張っていることがわかってもらえるかなと思います。



工場の生産ラインでの業務



社屋内の清掃の様子

(3) 働いていて大変だったことはありますか？また、その時はどのように乗り越えましたか？

新しい作業を初めてする時です。最初はやり方がわからないので、所長が作成してくださった手順書を読み、班長にやり方を教わったりしました。今苦手なことはパレット洗浄の指示出しです。他のメンバーに教わりながらやっています。ベテランの方がいるとやりやすいと感じます。

(4) 前回の取材の際の目標は「後輩への指導をしていきたい」でしたが、これからの目標は何ですか？

いろんな製品に携わっていきたいです。あとは研修生さんがきた時に、自分がわかるところは教えてあげたいです。



発 行：仙台市障害者就労支援センター「はたらポート仙台」

(指定管理者：社会福祉法人仙台市障害者福祉協会)

住 所：仙台市泉区泉中央2丁目1-1 泉区役所東庁舎5階

電 話：022-772-5517 FAX：022-772-5519

Eメール：info@sendai-wsc.jp ホームページ：https://www.sendai-wsc.jp